

今月の
PICK UP

『をんごく』北沢 陶／著 KADOKAWA 913.6 ｷ

舞台は大正時代末期の大阪船場。画家の壮一郎は妻の死が受け入れられず、巫女に妻の霊を呼ぶよう頼みます。ところが降霊はうまくいかず、巫女から「普通の霊と違う」「気をつけた方がいい」と警告を受けます。その言葉通り、後日壮一郎のもとに現れた妻の霊は何とも歪^{いびつ}なモノでした。

横溝正史ミステリ&ホラー大賞を受賞した本作は、冒頭からその世界に引き込まれる幻想的な雰囲気漂います。光景が目浮かぶような鮮やかな情景描写や、謎の人物「エリマキ」を始めとしたキャラクターが魅力的です。ホラーらしい不気味さがありながらも、最後はほろりとくる作品です。



『ワールド・トレイルズUSA アメリカの道(トレイル)を歩く』

Gestalten／著 渡部 未華子／訳 グラフィック社 295 ｷ

トレイルとは、野山、原野などにある自然の道のこと。ロッキー山脈、グランドキャニオンといった誰もが知る場所や、アメリカ国内の国立公園など、プロハイカー（冒険家）が厳選した30のトレッキングルートが紹介されています。砂丘、氷河、岸壁などの絶景や、野生動物の群れ、咲き乱れる花々、見るもの出会うもののスケールの大きさに圧倒されます。写真を眺めているだけでも十分楽しめます。



『道具のブツリ』田中 幸・結城 千代子／文 大塚 文香／絵 雷鳥社 420.4 ｷ

小中学校の理科の教科書執筆に携わった著者たちが、扇風機、ホチキス、ピザカッター、線ファスナーなど、身の回りの道具の仕組みについて、物理学の専門的な視点を持ちながらも、わかりやすく解説しています。「なるほど、そうなんだ。」と、その形状や素材の意味に気づかされることでしょう。また、コデックス装という開きが良くユニークな見た目の装丁と、滋賀県出身のイラストレーターによる温かみのある挿絵も印象的な1冊です。



『酷道大百科』鹿取 茂雄／編著 実業之日本社 685.2 ｶ



国道といえば、国が管理する走りやすい道です。しかし中には、対向車とすれ違えないほど狭かったり、通行不可能な登山道や階段の道もあるそうです。著者はこれらを親しみをこめて酷道とよび、全国の約50の道を実際に走って見てその困難さを紹介しています。どの道の写真もこの先どうなるのか、ワクワク感があります。

この通行困難な道も少しずつ整備されているそうで、「酷道を楽しむなら早いうちに」と著者は酷道の体験をおすすめしています。



『日本ご当地アイス大全』アイスマン福留／著 辰巳出版 596.6 ｷ

本書は、アイス愛する著者が全国を巡り、その土地でしか買えない限定アイスを取材した食べ歩きの本です。ページをめくると、今や全国区の人気を誇る「しろくま」「アイスまんじゅう」「アイスモナカ」等がさまざまな形で紹介されています。また各地の人気店舗やアイスの写真が豊富に掲載されていて、この夏のアイス巡りが楽しめる1冊です。

